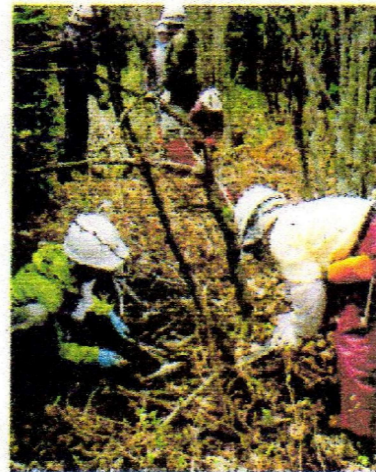


なかま 特集

3 平成27(2015)年5月20日 第128号

なかま 募集



樽前山麓での除伐作業

市民の手で森を守り、伝え親しむ

NPO法人 森林(もり)遊びサポートセンター

郊外に豊かな森が広がる札幌ですが、森を守っているのはお役所ばかりではありません。

「ほんものの自然に親しみ豊かな心と強健な身体をつくり、心身の健康増進を図ることを目的に、平成3年に結成された札幌森友会(現在はNPO法人森林遊びサポートセンター)...

も、ボランティアとして除伐や下草刈などの手入れを行ってきました。主な活動場所は南区の簾舞や定山溪、野幌森林公園、支笏湖周辺など。「CO2削減に貢献できるような公益性の高い場所です」と理事長の小林文男さん。会員は40代、80代の男女、計70名。夏期はほぼ毎...

伐などの森林ボランティアは参加費無料、登山やウォークなどの参加費は有料。単発での一般参加もできます。「初めは遠足気分です野山歩きを楽しみませんか。気分爽快になりますよ」と柔らかな笑顔で呼びかける小林さんです。詳細は☎・FAX 011-0301 http://www.moriasobi.jp



昨年のフットパスウォークでは十勝岳連峰の麓、美瑛町の白樺街道を歩き、「青い池」も見学！皆さん、いい笑顔ですね

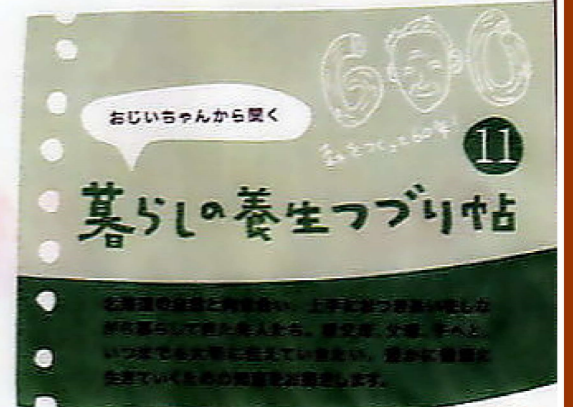
市民の手で森を守り、伝え親しむ

NPO法人 森林(もり)遊びサポートセンター

平成27年(2015)5月20日 読売新聞折込紙

暮らしの養生つづり帖 ⑩

森で楽しく健康に！



インタビューしました

NPO法人森林遊びサポートセンター理事長 小林文男(こばやし ふみお)さん 1934年秋田県生まれ。元北海道森林局(現北海道森林管理)職員。1992年札幌森友会発足。2003年NPO法人森林遊びサポートセンターに改名。森林整備活動、森林環境教育の普及に努め、会の活動に2012年特別賞が贈られた。

Cho-co-tto 2

子どもも小鳥も喜ぶ森を作りたい

小林さんとともに

小林さんは秋田の山村で生まれ育ち、「小さい時から森のなかで一人で遊んでいましたから森の仕事に就いたのは必然でしたね」。木を切り出す仕事をまかされ、青森の下北では冬の間、食料を運び込み、山の中で生活したことも。「ランプの生活でラジオもなかった。最高の...

ご馳走はケジラの塩漬けのカレイライスでしたね。洞爺丸台風で被害を受けた北海道に1955年から行くことになり、以来、道内の営林局で働き、森作りの活動の会も立ちあげました。

小林と子どもとを育てること

小林さんの夢は「子どもも

小鳥も喜ぶ、美しく楽しい森を作ること。「森作りの時に、一年じゅう緑の木や、花の咲く木、実のなる木をバランスよく配置できるように考えます。春は花が咲き、夏は涼しい緑の木陰、秋は実がなる。どの季節も子どもや小鳥がいるって楽しいでしょう。」「森を次世代へ引継ごうというけれど、森を守る人を育てていかなければなりません。ですから子どもには森



木はかわいい

「森に行くといくつもの木に挨拶します。「おはよう」「おや、今日は元気がないね」木はそれぞれ特徴があって、みんなかわいいんです。香りを楽しんだり、花をみたり、おいしい実を見つけたり、木には楽しみがたくさんあります。」



バと体をいやす

森林遊びサポートセンターの活動では、森育きのボランティアのほか、温泉や山歩き、登山、冬はスノーシューも楽しめます。「心も体も元気になって、暮らしにはりあいを待ってほしいですね。」



NPO法人森林遊びサポートセンター http://www.moriasobi.jp

子どもも小鳥も喜ぶ森を作りたい